

2013 業務案内



Kagoshima
Construction
Technology
Center

ごあいさつ

公益財団法人鹿児島県建設技術センター
理事長 中野 義一

当センターは、県内地方公共団体の建設行政の円滑かつ能率的な執行を支援するため、昭和50年7月に県が出捐して設立したものであり、これまで、建設に関する技術研修、広報、建設材料の品質試験、公共工事の積算・施工管理の受託並びに大規模災害時における人的・技術的支援など、発注者支援機関としての役割を果たしてまいりました。

平成24年4月からは、発注者支援機関として、これまで以上に社会資本の品質の確保と県民の福祉の増進に寄与できるよう、『公益財団法人鹿児島県建設技術センター』として、新たなスタートを切ったところです。

近年の建設行政を取り巻く環境は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行され、発注者の責務はこれまで以上に大きくなってきています。

また、これから大量に更新時期を迎える橋梁をはじめとする公共土木施設の効率的・効果的な維持管理など、新たな課題への対応も求められています。

このような状況を踏まえ、当センターにおいては、建設行政に係る、『公共工事の発注関係事務支援事業』、『公共土木施設の管理者支援事業』、『社会資本の整備を担う人材育成等支援事業』、『建設行政に係る研究・地域活動支援事業』の4つの事業を柱に、発注者支援機関として更なる業務の充実を図るよう努めてまいります。

今後とも技術の向上に努め、公益法人移行後の諸々の情勢変化にも的確に対応できるよう体制を整えてまいる所存でありますので、皆様方の御協力と御支援を賜りますとともに、引き続き当センターを御活用いただきますようよろしくお願いいたします。

＜表紙の紹介＞ 第1回かごしまの土木デザインフォトコンテスト
最優秀賞：夢のかけ橋(撮影場所：南さつま市加世田高橋)

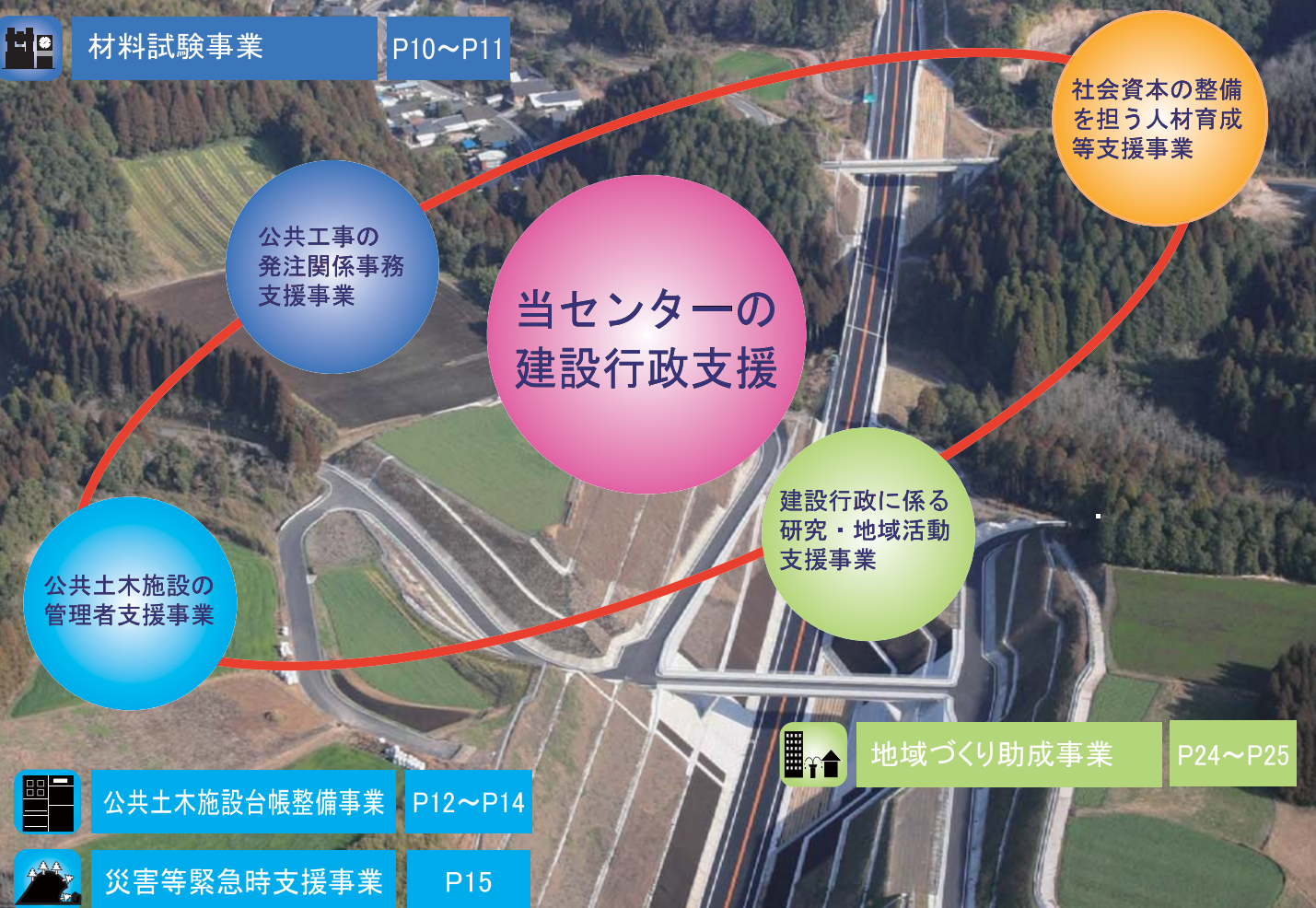
『かごしまの土木デザインフォトコンテスト』は、当センターの広報事業の一環として、平成24年度から実施しています。

このコンテストは、「安心・安全な暮らし」や「豊かで快適な生活」を支えている県内の土木施設と自然豊かな風景と一緒に撮影してもらい、『かごしまの土木デザイン』としての魅力を引き出してもらうことを目的に実施しています。



	積算事業	P4
	施工体制点検等事業	P5
	施工管理事業	P6～P8
	電子化普及事業	P9
	材料試験事業	P10～P11

	研修事業	P16～P17
	広報事業	P18～P20
	図書出版等情報提供事業	P21
	土木資料室整備事業	P22～P23



目 的

すべての鹿児島県民が生涯を通じて安心して暮らすことができ、自らの人生やふるさとに夢と誇りを持てる、優しく温もりのある地域社会を目指し、社会資本の整備及び維持管理並びにそれらを担う人材の育成等の様々な建設行政に係る支援を行うことなどにより、快適で活力ある生活空間の形成を担う社会資本の品質の確保を図り、もって、広く県民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

概 要

名 称	公益財団法人鹿児島県建設技術センター
設立年月日	平成24年4月1日 財団法人鹿児島県建設技術センターを名称変更し移行設立
基 本 財 産	鹿児島県出捐 3,000千円
所 在 地	総務部・建設技術部 〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目9番3号 建設技術部試験研究班 〒890-0015 鹿児島市東開町1番地

評 議 員

(平成25年4月1日現在)

川畑 俊彦 (県建設業協会)	平田 登基男 (鹿児島工業高等専門学校名誉教授)
久保 力 (鹿児島県土木部次長)	福田 光一 (県測量設計業協会)
坂上 省悟 (県町村会)	山下 博美 (㈱鹿児島県頭脳センター専務取締役)
萩元 美恵野 (公認会計士)	

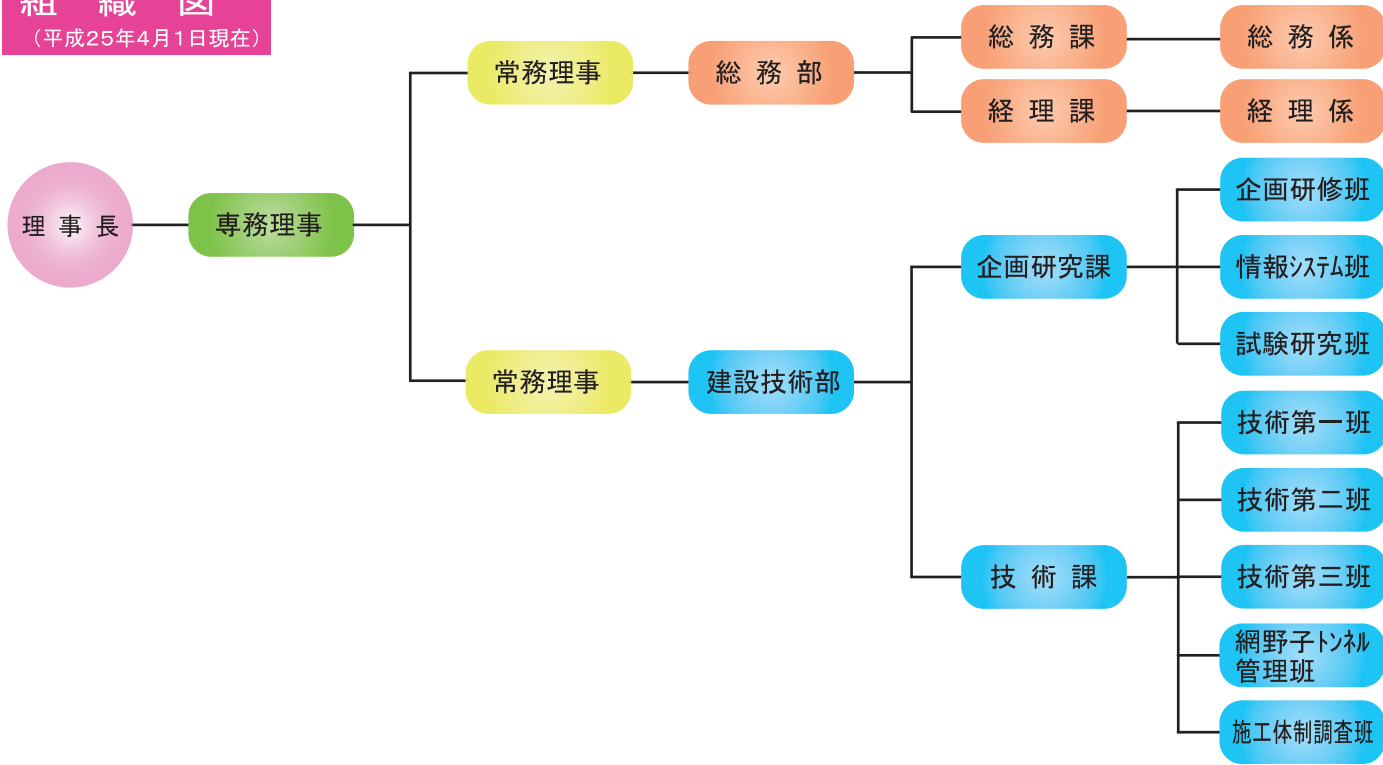
役 員 等

(平成25年4月3日現在)

理 事 長 中野 義一	理 事 堤 隆 (鹿児島工業高等専門学校教授)
専務理事 矢崎 正人	理 事 中島 喜久生 (県町村会)
常務理事 兒玉 達美	理 事 間世田 武裕 (県造園建設業協会)
常務理事 畦地 守	理 事 村岡 公範 (県技術士会)
理 事 岩井 健 (県建設コンサルタンツ協会)	監 事 上山 寛 (南九州税理士会鹿児島支部)
理 事 宇都 忠良 (県地質調査業協会)	監 事 西川 秀和 (県土木部 監理課長補佐)
理 事 北村 良介 (鹿児島大学名誉教授)	参 与 大塚 行則 (県土木部監理課技術管理室長)
理 事 辰田 幸三 (西日本建設業保証㈱鹿児島支店長)	

組 織 図

(平成25年4月1日現在)



役・職 員 数

(平成25年4月1日現在)

区 分		職 員		非常勤等	計
		事 務	技 術		
役 員	理 事 長		1		1
	専務理事	1			1
	常務理事	1	1		2
総務部	部 長 (兼1)				
	課 長	2			2
	主 幹	1			1
	主 査	1			1
	主 事	1			1
	補 助 員			3	3
建設技術部	部 長		(兼1)		
	課 長		2		2
	技術補佐		1		1
	技術主幹		3		3
	班 長		3		3
	技術専門員		2		2
	技術主査		6		6
	技 師		7		7
	土木技術員等			18	18
計		7	26	21	54

有 資 格 者

(平成25年4月1日現在)

資格種別	人数	備考
技術士 (建設部門)	3	
技術士補 (建設部門)	10	一次試験合格者等含む
1級土木施工管理技士	31	
公共工事品質確保技術者 (Ⅱ種)	2	
コンクリート診断士	4	
コンクリート技士	4	
測量士	11	
CALS/EC エキスパート	1	
CALS/EC インストラクター	2	



県及び市町村を対象に、公共工事発注用設計書の作成を、県土木部が作成した「県土木積算システム」を使用して支援しています。また、「県土木積算システム」用の歩掛データ等の改定業務についても、公正中立な立場で支援しています。

■積算業務



〔橋梁〕泊野3号橋
鋼4径間連続非合成鉄桁＋
PC3径間連続ラーメン箱桁曲線橋



〔トンネル〕蘭牟田瀬戸3号トンネル
NATM発破工法 L=1,674m



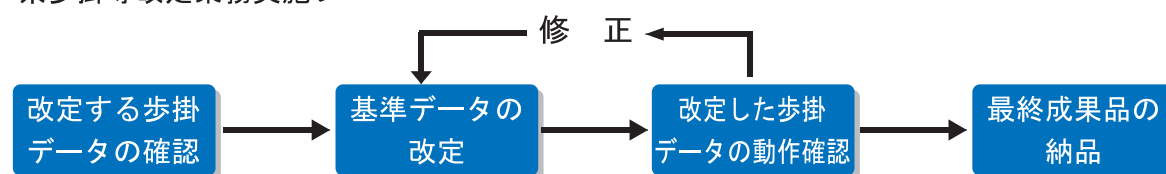
〔河川〕二級河川米之津川
六月田堰（SR合成起伏堰）



〔砂防〕大峯川
透過型えん堤

■県歩掛等改定業務

県歩掛等改定業務実施フロー



作業状況



打合せ状況

適正な元請・下請体制の下に、公共工事の品質を確保し目的物の整備が的確に行われるように、県が定める「施工体制点検要領」に基づき、施工段階において工事現場における施工体制の把握・調査を行う施工体制点検調査や、低価格入札案件において工事が適正であるかを常時監視する施工重点監視調査等について、公正中立な立場で支援しています。

■施工体制点検業務



下請負契約・主任技術者選任等の確認



掲示物（建設業許可票等）の確認



施工体系等の確認

公共工事については、

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）」

「公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年法律第18号）」

に基づき、適正な施工体制を確保するよう発注者及び受注者に対し求められています。

■重点施工管理業務



監視状況（切羽）



監視状況（覆工）



監視状況（モニター）



モニター画面

鹿児島県低入札価格調査実施要領

入札・開札

- ・調査基準価格の算定（第3条）
- ・調査基準価格未済の場合、落札者決定を保留（第6条）

低入札価格調査委員会
入札契約手続運営委員会

- ・最低価格入札者から事情聴取、関係機関への照会等（第4条）
- ・調査結果の判定（第7条）
※履行可能と判断された場合

落札通知・契約

監督体制の強化

第10条 重点施工管理業務

- ・施工体制台帳の提出及びその内容の調査
- ・施工計画書の内容の調査
- ・重点的な監督業務の実施
- ・労働安全担当部局との連携



県及び市町村の公共工事における品質確保を目的に、施工管理業務（施工計画書と設計図書との照合、工事施工状況の確認、完成検査への立会等）のうち、大規模で複数年にわたり継続するものや、経験の浅い行政職員に対するOJTを兼ねたもの、積算（変更を含む）から施工管理まで一括して行うものについて、公正中立な立場で支援しています。

■施工管理業務



① 鹿児島東市来線（電線共同溝整備工事）



② 南薩縦貫道（川辺道路）



③ 国道226号（丸木崎トンネル）



④ 鹿島上飯線（藺牟田瀬戸架橋）

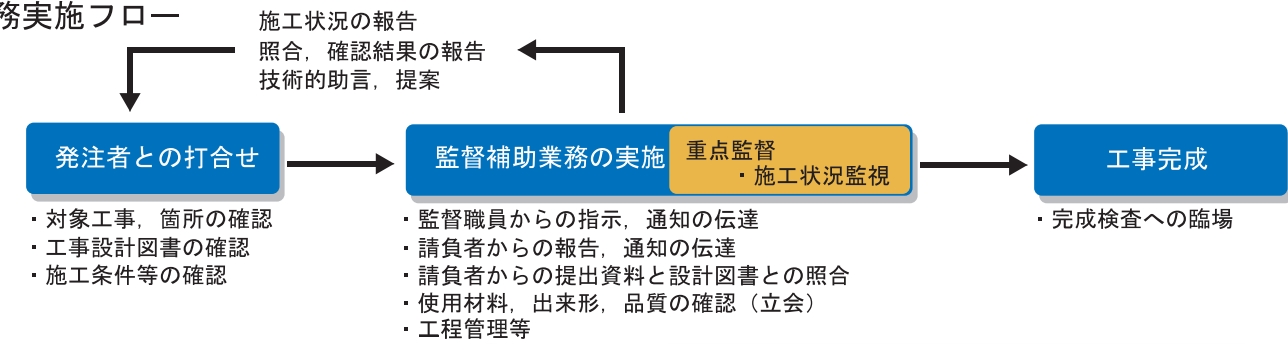


⑤ 北薩横断道路（北薩トンネル）



⑥ 北薩横断道路（泊野道路）

●施工管理業務実施フロー



⑦ 国道267号（宮都大橋）



⑧ 国道223号（小谷拡幅）



⑨ 伊集院蒲生溝辺線（有川工区）



⑩ 都城志布志道路（有明志布志道路）



⑪ 国道58号（網野子トンネル）



■技術支援業務（積算・施工管理等支援）

当センターは、現場経験の浅い行政技術職員や、橋梁建設や災害等の経験が少ない市町村等を対象に、OJT研修を兼ねた技術支援（積算・施工管理支援）を行っています。

【積算支援内容例】

- ・積算担当職員のスキル向上が図られるよう、積算時の疑問点への回答や、設計図書の内容を精査し、助言します。

【施工管理支援内容例】

- 工事着手前
 - ・設計図書や基準書、施工計画書の内容を審査し、工事の留意点等について説明します。
- 工事施工中
 - ・監督職員と現場へ同行し、具体的な施工管理方法等について説明をします。
 - ・監督職員、施工業者との協議や打合せの場に加わり、工事が円滑に進むよう助言します。
- 工事完成後
 - ・完成書類の審査内容について説明します。
 - ・下検査、完成検査へ臨場し、助言します。



施工管理支援状況（市町村への支援）

県では、公共事業の一層の効率化を図るため、CALS/ECの導入と普及に取り組んでおり、当センターにおいても、公共工事に係る電子入札及び電子納品等について専門的な研修の実施や、「鹿児島県電子納品ガイドライン及び手引き」の改訂補助業務を行い、公共事業の電子化の普及を支援しています。

■CALS/ECの導入支援業務

CALS/ECのキーワード

- ・情報の電子化
- ・通信ネットワークの利用
- ・情報の共有化

公共事業における

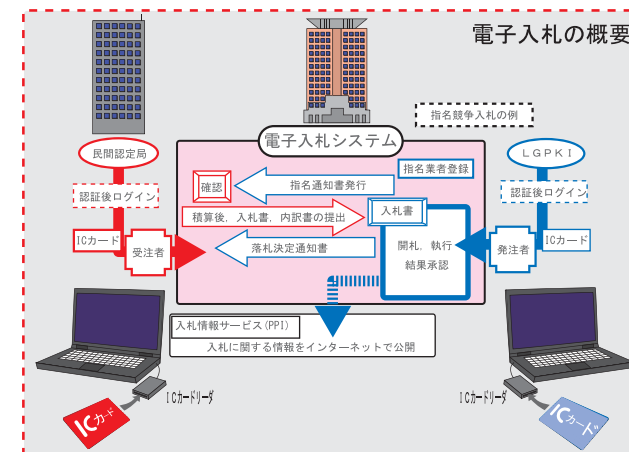
- ・業務の効率化
- ・品質の向上
- ・移動コストの削減

より高い品質の目的物のために

●鹿児島県のCALS/EC

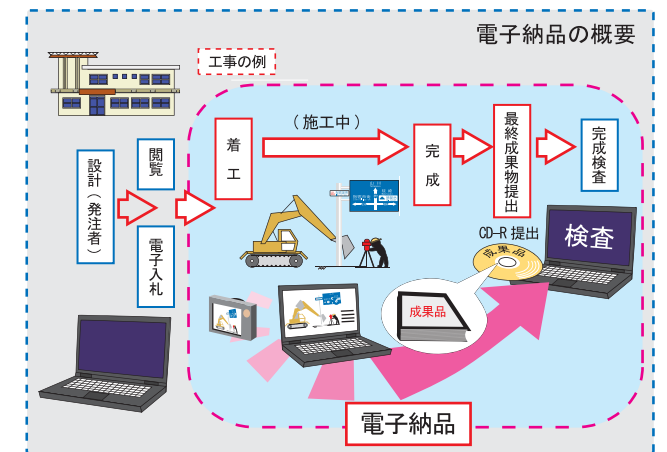
▲電子入札

- 入札会場に赴くことなく、コンピュータを介して入札を行うものです。
- 入札結果は、入札情報サービスで公開されます。



▲電子納品

- 調査、設計、工事など、公共事業の各業務段階の最終成果を電子成果品（CD-R）として納品することです。



●建設技術センターの主な支援内容

- ・電子入札システム導入プレゼン（市町村）
- ・電子納品研修（県、市町村）
- ・鹿児島県電子納品ガイドライン（案）及び手引きの改定補助



電子入札システム導入プレゼン状況（市町村）



電子納品研修状況（県、市町村）

建設工事材料試験業務は、昭和31年度から、社会資本整備に係わる建設資材の品質確保を図るため県が直営で実施してきましたが、昭和59年度から技術センターが受託しています。

当センターの圧縮試験機は全自動デジタル型であり、JIS規格に合わせて載荷速度が設定されており、信頼性の高い試験結果が得られます。

また、JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録機関による校正を受けており、国際的にも信頼性の高い機械となっています。

材料試験受託内容

試験業務のフロー

・試験申請書の受付
（申請者が申請項目を記入）

・試験の実施
①圧縮・曲げ試験
②碎石・砕砂・砂・石材

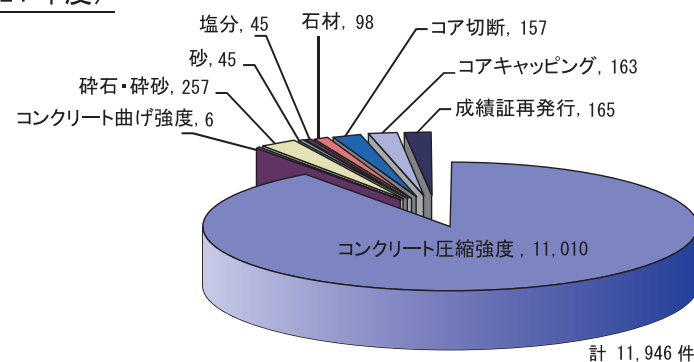
・成績証の発行

①については、申請当日に試験を実施し、成績証を試験後即時、交付する。
②については、試験申請受付から成績証交付迄7～10日間要する。

試験の種類と参考規格

試験項目	参考規格
1) 密度・吸水率試験	JIS A 1109 & 1110
2) 単位容積質量試験	JIS A 1104
3) ふるい分け試験	JIS A 1102
4) 微粒分量試験	JIS A 1103
5) すりへり試験	JIS A 1121
6) 海砂の塩化物イオン試験	コンクリート標準示方書 (JIS A 5308)
7) コンクリート圧縮強度試験	JIS A 1108
8) コンクリート曲げ強度試験	JIS A 1106
9) コアの切断・キャッピング	JIS A 1107, JIS A 1132
10) 試験成績証再交付	

材料試験件数（平成24年度）



建設工事材料試験実地研修

県及び市町村職員を対象に、毎年、10月後半に実地研修を開催しています。
(H23: アスファルト配合設計課程, H24: 土質とCBR課程, H25: アスファルト配合設計課程予定)



講習風景（アスファルト課程）



実地研修風景（CBR課程）

試験の紹介（例）



圧縮・曲げ強度試験



粗骨材のふるい分け試験



粗骨材のすりへり試験



粗骨材の単位容積質量試験



細骨材のふるい分け試験



細骨材の密度試験

試験廃材利用促進の事例

当センターでは、試験済みの材料を無料でお分けします。
お分けできる材料は、石材、碎石、砂、コンクリート供試体です。
詳しくはセンターホームページでご確認ください。 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



石材・テストピースの使用事例



碎石の使用事例



県及び市町村を対象に、公共土木施設の効率的・効果的な維持管理や地域住民等からの問い合わせに迅速かつ的確に対応するための統合的なデータベースの整備・運用を目指し、公共土木施設台帳等の電子化を支援しています。

■台帳システム 各施設の情報や写真、図面、発注履歴、補修履歴などを一元管理するシステムです。

●メインメニュー

●基本情報の閲覧

- ✓ 詳細情報の閲覧とは別に、簡易情報の閲覧にも対応
- ✓ 各施設を路線ごとのツリー構造等で分類し、分かりやすい表示
- ✓ 写真や図面の拡大表示機能により細部の確認が可能
- ✓ 豊富な検索項目と複数項目による検索
- ✓ 台帳検索結果を印刷し調査等への活用
- ✓ 施設CADデータなど、他の図面に2次利用

●検索機能

●図面データ

■橋梁点検支援システム 橋梁の点検結果を登録、閲覧するシステムです。 2012年度 運用開始

●ログイン画面

●点検結果登録画面

- ✓ インターネットからのアクセスが可能
- ✓ 概略点検／詳細点検どちらの点検結果入力にも対応
- ✓ わかりやすい画面で、流れに沿って入力するだけで点検結果表を作成可能
- ✓ 複数枚の点検写真をWeb上で登録できるので、容易に状況の把握が可能

●点検結果一覧

●点検写真一覧

■地理情報システム (WebGIS)

台帳システムに登録している各施設の位置を地図上に表示し、施設情報の間に閲覧や検索機能による位置の特定を行なうシステムです。

●メイン画面

●標識情報

●道路標識台帳

●地図上のアイコンから施設情報を表示

●動画の表示

●拡大画面

●並べて表示

●オルソ画像・道路現況台帳図の組合せ

●スケッチ作成

✓ 写真等による施設の概要以外に動画の表示も可能

✓ 複数の台帳を並べて表示可能

✓ 背景図にオルソ画像（航空写真）と道路現況台帳図を組み合わせて、よりリアルな背景図表現が可能

✓ 作成したスケッチは画像データとして保存可能

●検索・発注履歴確認・図面ダウンロード機能

●現況台帳図等の2次利用

✓ 簡易検索により、閲覧したいマップへ即ジャンプ

✓ 発注履歴の確認・図面ダウンロード機能

✓ 地図を拡大すると道路現況台帳図を表示

✓ 登録している道路現況台帳図のデータを他の図面に利用できる



公共土木施設台帳整備事業

- 観光かごしまサイン整備
- 土砂災害警戒区域設定の照査

■観光かごしまサイン整備

県では、九州新幹線全線開通を機に魅力ある観光地づくりを進めており、これを支援するために「観光かごしまサイン整備調査」を行い道路案内標識と連携した観光案内標識の提案を行っています。

●ルート設定



整備事例（観光案内標識）



全景

整備事例（道路案内標識）



改善前
国道223号
開聞十町交差点付近

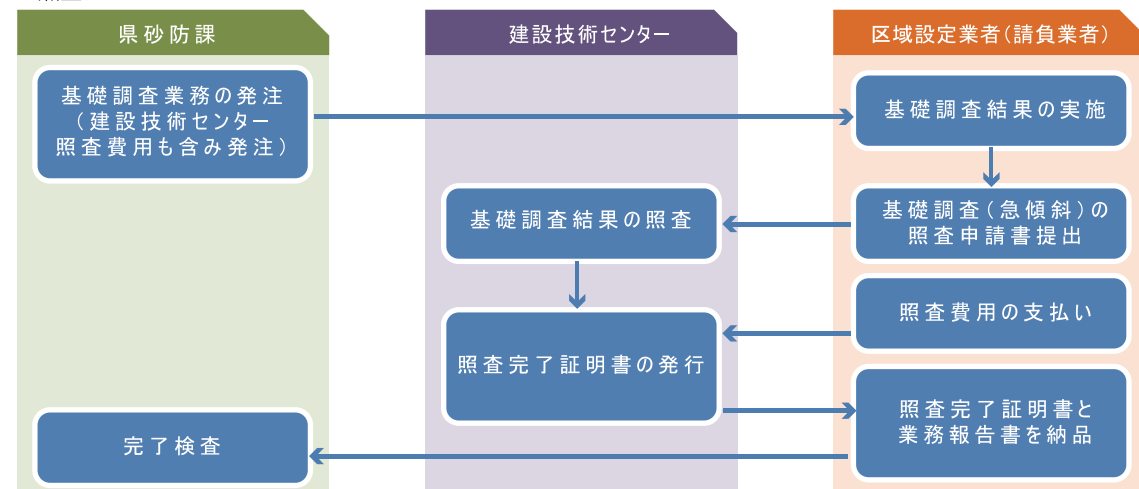
改善後

表板

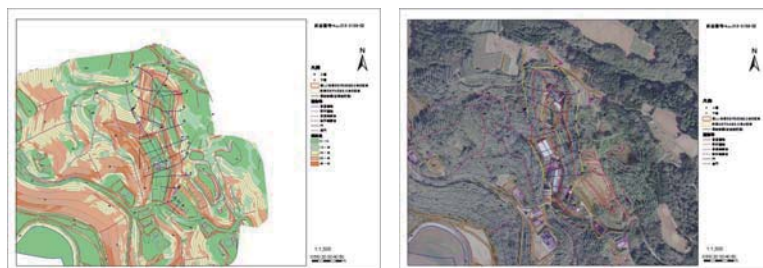
■土砂災害警戒区域設定の照査

県が計画的に進めている土砂災害（特別）警戒区域の指定に関する基礎調査業務の照査を当センターで支援しています。

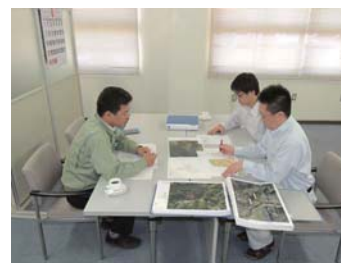
●照査フロー



●照査資料



●照査状況



災害等緊急時支援事業

- 災害復旧支援（県内）
- 災害復旧支援（県外）
- 災害調査等助成

大規模災害等が発生した際に、国の災害査定に当たって、県や市町村の行政職員だけでは、人手不足等で対応が困難な場合の、復旧工法協議や査定設計書の作成、査定時の説明補助等における職員の派遣、また、県の支援要請を受けて災害調査等を実施したボランティア団体に経費の助成を行っています。

■災害復旧支援（県内）

●23 災第 612 号 橋梁災害復旧工事 千田袋橋（龍郷町）



被災状況



災害査定臨場状況

●主な支援実績

（災害査定設計書作成、災害査定臨場）

年 度	県市町村名	工 種
1 8	大 崎 町	橋 梁
1 9	南大隅町	橋 梁
2 2	曾 於 市	橋 梁
2 3	龍 郷 町	橋 梁

■災害復旧支援（県外）

当センターは、技術力向上などを目的とし、全国各道府県における「全国建設技術センター等協議会」（全技協）に所属し、大規模な災害が発生した場合に、被災道府県のセンター等からの要請に基づき、職員を派遣し応援する協定を結んでいます。

当センターは、全技協会員として、東日本大震災と新潟・福島豪雨災害における災害復旧に、職員を派遣し、支援を行っています。



（公財）ふくしま市町村建設支援機構
（東日本大震災復旧・復興への支援）



（財）新潟県建設技術センター
長岡支所宮内分室
（新潟・福島豪雨災害復旧への支援）

●最近の派遣状況

年度	派遣先	人員
2 3	（公財）ふくしま市町村建設支援機構	2 名
	（財）新潟県建設技術センター	1 名
2 4	（公財）岩手県土木技術振興協会	3 名

※平成25年度についても、引き続き職員を派遣し、災害復旧・復興への支援を行います。

■災害調査等助成

当センターは、平成22年度に発生した「奄美豪雨災害」において、NPO法人かごしま河川ボランティア協会による「奄美豪雨災害に係る被災調査」に対して経費の助成を行っています。



『NPO法人かごしま河川ボランティア協会』による河川氾濫調査実施状況



地方公共団体職員及び建設業界関係者を対象に、質の高い社会資本の整備を担う人材を育成するために、県土木部及び市町村社会基盤整備推進協議会と共催で、研修、発表会、講習会等を実施しています。研修は、CPD（継続教育）制度のプログラム認定を受けた研修や一般県民にも開放したものなど幅広く実施しています。

■研修実施予定（平成 25 年度）

番号	研 修 名	研 修 内 容	場 所 時 期	対 象 者
1	土木施設災害対策研修	災害実務研修（計画・査定等の演習）	大島、県庁講堂 4月24日～25日、5月10日	県、市町村
2	土砂災害防止の集い2013	これからの防災についての啓発活動	自治会館 4月25日	県、市町村、民間
3	電子入札研修	電子入札システムの操作研修	建設技術センター、徳之島町 5月～6月（9回）	県、市町村
4	建設技術研修会	建設行政に係る新たな課題等について外部講師による講演等	自治会館 5月31日	県、市町村
5	出前研修会	現場管理における技術力向上を目的とした研修	指宿市・薩摩川内市 5月（2回）	市町村
6	新技術・新工法に関する技術講習会	新技術・新工法の紹介等	奄美建設会館、自治会館 7月4日、7月12日	県、市町村、民間
7	鹿児島豪雨災害20周年講演会（仮称）	水害や土砂災害に関する防災意識の向上	未定 7月～8月	県、市町村、民間
8	土木部技術職員研修	専門別研修	自治研修センター 5回	県、市町村
9	道路防災に関する技術講習会	道路防災意識の向上、技術力向上等を目的とした講習	自治会館 8月26日	県、市町村、民間
10	橋梁概略点検現場研修会	橋梁点検に関する講習と実施	南薩・北薩 10月～11月（2回）	県、市町村
11	建設技術発表会	若手職員の技術力及びプレゼンテーション力向上	自治会館 11月1日	県、市町村、民間
12	災害復旧実務研修	災害実務研修（調査・測量・計画・査定の実地研修）	振興局及び支庁 11月	県、市町村
13	全建クラブを活用した現場力研修	現場管理等の実務研修	振興局及び支庁 未定	県、市町村
14	現場研修会	現場体験による技術力の向上	始良・伊佐 7月下旬	県、市町村

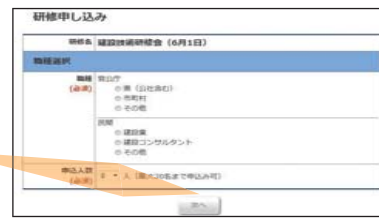
■研修申込案内 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



✓ 当センターHPのTOP画面「研修申し込み」をクリック



✓ 研修一覧から「申込」ボタンをクリック



✓ 専用のシステムが起動し、研修申込ができます

■研修状況（平成 24 年度）



建設技術研修会



新技術・新工法に関する技術講習会



道路防災に関する技術講習会



建設技術発表会



災害復旧実務研修（沖永良部事務所管内）



出前研修会（出水地区社会基盤整備推進協議会）



県においては、県民とのパートナーシップによる地域づくりを推進するため、地域の方々や将来を担う子供たちへ自分たちの地域がどのように変わるのかなど、公共事業をもっと理解してもらう広報活動を行っています。

当センターにおいては、これらの活動を支援するため、各種パンフレットや啓発ポスターの作成などを行っています。また、当センターの自主企画として「夏休み親子現場見学会」や「かごしまの土木デザインフォトコンテスト」を実施しております。

■広報実施予定（平成 25 年度）

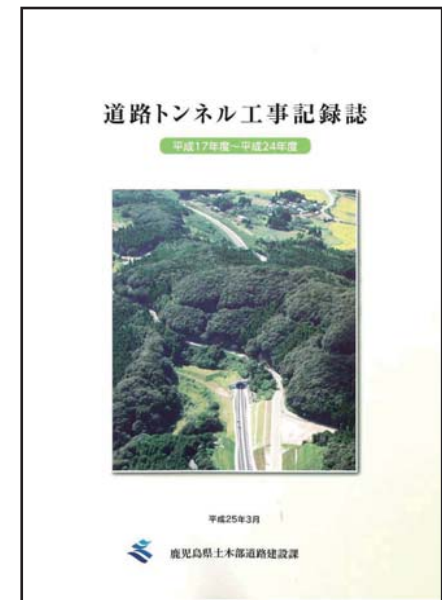
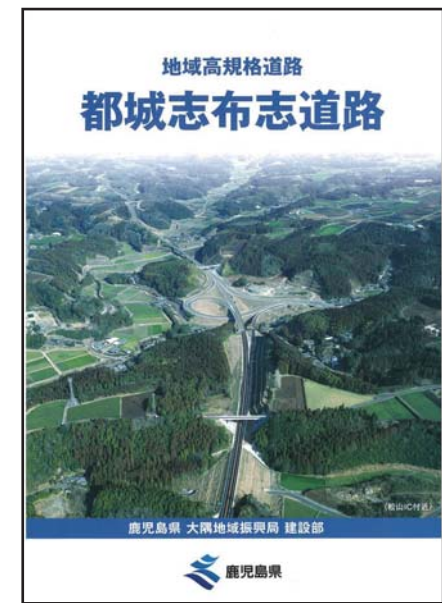
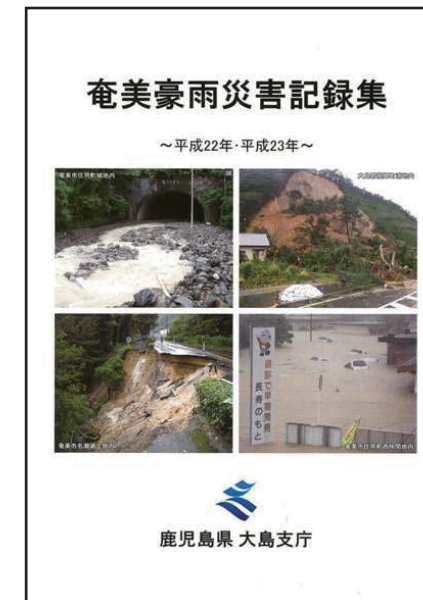
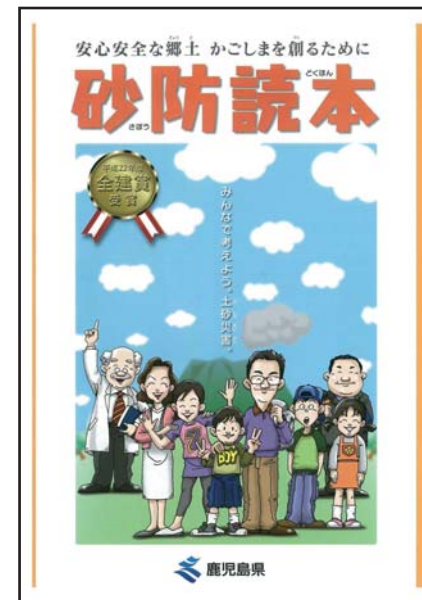
番号	広報の名称	広報内容	広報対象
1	鹿児島県の都市計画2013	都市計画概要書作成	県内の行政機関
2	河川・海岸愛護運動	・ポスター及びリーフレット作成 ・作業用軍手配布	県内の行政・教育機関
3	かごしまの河川・海岸 2013	管内図兼用広報パンフレット作成	県内外の行政機関
4	土砂災害防止月間推進事業	PR用チラシ、PR用品作成	県民
5	砂防メールかごつま	『砂防メールかごつま』作成	県内外の行政機関
6	鹿児島の道路 2013	広報パンフレット作成	県内外の行政機関
7	本県地域づくり事業の現地見学会支援事業	地域の方々を対象に現場見学会等の支援	県民
8	万之瀬川『こせ渓谷』周辺景観環境整備事業	事業概要パンフレット作成	県民
9	電子入札システムの利用案内	電子入札システム概要パンフレット作成	県内の行政機関
10	夏休み親子現場見学会	建設事業現場見学会等の開催	県民
11	第2回かごしまの土木デザインフォトコンテスト	地域における公共事業の写真を募集	県民
12	道路ボランティア活動の普及・啓発	・「ふるサポ通信」及び「ふるサポ普及啓発用ポスター」作成 ・「ふるサポPR用のぼり旗」	県内の行政機関
13	ふるさと砂防サポート推進事業	啓発用ポスター及びチラシ作成	県内の行政機関
14	建設事業イメージアップ事業	鹿児島地区の土木フェスタ	県民
15	砂防事業等啓発	砂防事業等啓発パンフレット作成	県内外の行政機関

■広報事例（平成 24 年度）

●パンフレット



●冊子



●ポスター



●下敷



●道路地図





社会基盤整備の取組について、将来を担う子供たちをはじめ、広く県民に知って頂くために、国や県が施工している工事現場を見学してもらい、公共事業への親しみと理解を深めてもらうとともに、今後の地域づくりについて感心を持ってもらうことを目的に平成23年度から実施しています。

■夏休み親子現場見学会

実施状況

- 平成24年度は、県で現在整備中の地域高規格道路『北薩横断道路』泊野道路のうち泊野2号橋を見学しました。

●見学会実施状況



●募集案内ポスター



県民の「安心・安全な暮らし」や「豊かで快適な生活」を支えている道路、河川、港、ダム等の「土木施設」について、自然豊かで美しい風景に調和した『かごしまの土木デザイン』としての新たな魅力を、カメラをとおして引き出してもらうことを目的に平成24年度から実施しております。

■かごしまの土木デザインフォトコンテスト

- 第1回かごしまの土木デザインフォトコンテスト
- ・応募総数：176作品(77名)



最優秀賞：『夢のかけ橋』



優秀賞：『里山』



優秀賞：『染まる牛根大橋』

・審査会



・表彰式



- 第2回かごしまの土木デザインフォトコンテストは、平成25年7月～9月の間で実施します。

■図書出版

●販売中の図書

- ① 砂防事業設計積算基準……………平成20年 6月発行
- ② シラスを細骨材として用いるコンクリートの設計施工マニュアル(案)……………平成18年 1月発行
- ③ 土木工事施工管理基準……………平成17年 4月発行
- ④ 鹿児島県河川環境整備計画(CD版) ……平成15年 3月発行
- ⑤ 「石橋記念館」展示解説書……………平成12年 8月発行
「西田橋橋体復元の記録DVD付」
- ⑥ 「美しい山河を守る災害復旧事業」に関する手引き(案)CD付……………平成12年 6月発行



●図書販売システムの紹介 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



- ✓ 当センターHPのTOP画面「図書申し込み」をクリック



- ✓ 専用のシステムが起動し、図書購入ができます。

■基準書作成

- 「河川事業設計基準書」の作成を事務局として支援しました。当基準書は、県のHP

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

からダウンロードできます。



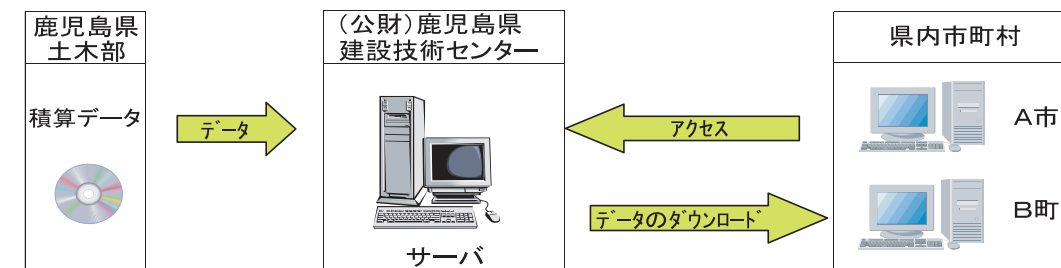
■土工・土積計算システム

- 道路土工では新土木積算工種体系ツリーコードへ対応した数量を算出し、それに準拠した本工事費内訳書出力
- エ区分割を任意区間で何回でもトライアルが可能
- マスキングのプリンタ出力が可能



■歩掛データ等提供

●市町村等土木積算基準データネットワークシステム



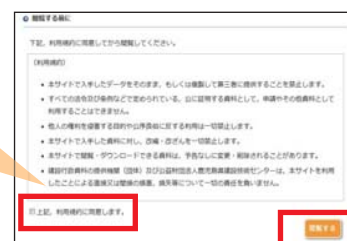


建設行政の効率的執行や、建設技術者の知識・技術力の向上を目的として、当センターの自主事業として土木資料室を整備し、センターで一元管理した県の建設行政に係る資料等を、建設行政に携わる関係者をはじめ広く県民に閲覧・貸出するものです。また、県内の地盤情報データについても閲覧可能となっております。

■建設行政資料



✓ 当センターHPのTOP画面「土木資料室」をクリック

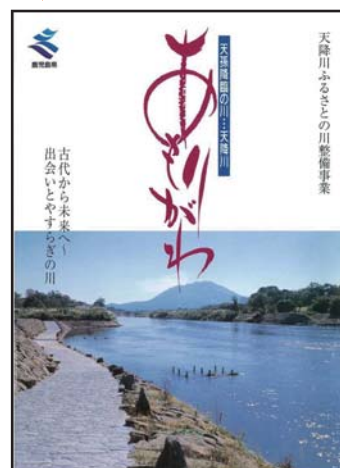


✓ 利用規約に同意したうえで「閲覧する」をクリック



✓ 「表紙」または「PDF」が選択できます。

● ✓ 「表紙」を選択した場合



✓ パンフレット等の表紙のイメージ画像が閲覧できます。

● ✓ 「PDF」を選択した場合



✓ パンフレット等のPDFデータの閲覧や、ダウンロードができます。

● 建設行政資料については、当センターHP(<http://www.kago-kengi.or.jp/>)で「表紙」のイメージは全て閲覧できますが、「PDF」については、一部公開していないものがありますので、ご了承ください。

■トンネル貫通石・貫通枅

当センターの土木資料室では、県内におけるトンネルの貫通石・貫通枅の収集を行っています。貴重な土木資料として、今後も収集・保管に努めます。

●貫通枅



●貫通石



■地盤情報データ

「かごしま地盤情報閲覧システム」は、県土木部から提供のあったボーリング調査に関する情報を、平成24年度から当センターのHP上で一般公開しています。



✓ 当センターHPのTOP画面「地盤情報データ」をクリック



✓ 「利用規約に同意する」をクリック

- ・ TOP画面の地盤情報データをクリックすると「かごしま地盤情報閲覧システム」が起動。
- ・ 現在約2400件を超える情報を登録。



✓ 閲覧したい地点をクリック

- ・ Google Map上にボーリングデータ登録地点をアイコンで表示
- ・ 地図の拡大、縮小はGoogle Mapの機能と同様であり、また、地図の移動は画面右上のサブマップがメインマップと連動するため、操作性に優れます。



✓ サブマップを開いて全画面での表示も可



✓ 調査件名、調査位置、調査期間、柱状図の情報が表示
出力ボタンをクリック

ボーリング柱状図									
調査位置	鹿児島県小湊町安良地区								
調査期間	平成21年10月11日～平成21年10月11日								
孔口標高	36.72m	北緯	31° 32' 38.2104"	東経	130° 31' 25.2567"	方位	図	地盤	図
総掘り深	5.00m	掘削	図	掘削	図	掘削	図	掘削	図
標準	深	柱	色	相	対	対	対	対	対
尺	厚	度	式	土	質	調	査	調	査
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
10	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
11	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
12	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
13	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
14	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
15	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
16	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
17	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
18	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
19	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
20	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
21	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
22	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
23	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
24	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
25	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
26	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
27	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
28	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
29	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
30	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
31	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
32	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
33	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
34	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
35	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
36	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
37	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
38	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
39	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
40	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
41	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
42	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
43	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
44	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
45	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
46	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
47	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
48	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
49	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
50	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
51	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
52	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
53	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
54	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
55	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
56	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
57	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
58	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
59	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
60	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

✓ ボーリング柱状図が表示

- ・ ボーリング柱状図は、閲覧はもちろんのこと、PDF等への出力もできます。



✓ Street View機能も利用できます。



行政の支援要請を受けた地域づくりに寄与する活動や、安心・安全の増進や環境の保全等に寄与する新技術・新工法の研究など、建設行政の課題に対応した「研究活動」や「地域活動」を支援しております。

■事業概要

●応募できる団体

県内にある大学等の教育機関（大学又は高等専門学校等）、NPO法人及びその他の営利を目的としない団体

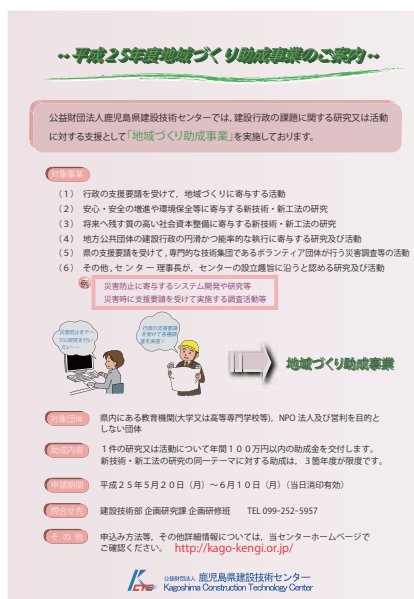
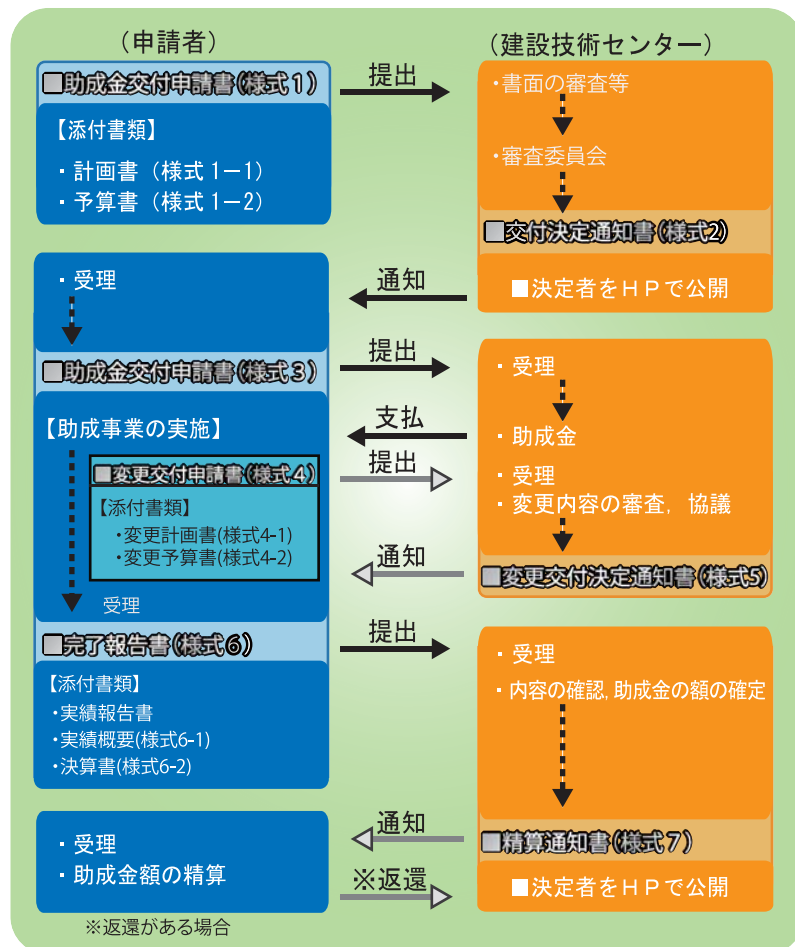
●対象となる事業

- （１）行政の支援要請を受けて、地域づくりに寄与する活動
- （２）安心・安全の増進や環境保全等に寄与する新技術・新工法の研究
- （３）将来へ残す質の高い社会資本整備に寄与する新技術・新工法の研究
- （４）地方公共団体の建設行政の円滑かつ能率的な執行に寄与する研究及び活動
- （５）県の支援要請を受けて、専門的な技術集団であるボランティア団体が行う災害調査等の活動
- （６）その他、理事長がセンターの設立趣旨に沿うと認める研究及び活動

●助成金額

当センターは、１件の研究又は活動について年間百万円以内の助成金を交付します。ただし新技術・新工法の研究の同一テーマに対する助成は３箇年が限度です。

●実施フロー



●募集案内チラシ（平成25年度）

●要綱、申請書類等は、当センターHPからダウンロードできます。
<http://www.kago-kengi.or.jp/>

■過去の助成実績

・平成23年度事業分から当センターHPで概要版の閲覧ができます。

●HPの紹介



✓ 当センターHPのTOP画面
「地域づくり助成事業」をクリック



✓ 閲覧したい年度をクリック



✓ 「実績紹介」をクリック

●助成実績（件数）

年 度	件 数
平成18年度	3件
平成19年度	2件
平成20年度	2件
平成21年度	5件
平成22年度	3件
平成23年度	6件
平成24年度	10件
合 計	31件

●助成実績（団体）：抜粋

- ・鹿児島大学
（大学院、工学部、農学部、水産学部）
- ・第一工業大学（工学部）
- ・鹿児島工業高等専門学校
- ・NPO法人
鹿児島県砂防ボランティア協会
- ・NPO法人
かごしま河川ボランティア協会
- ・社団法人
鹿児島県地質調査業協会



✓ 実績報告書をPDFで
閲覧可能

■平成24年度事業実績

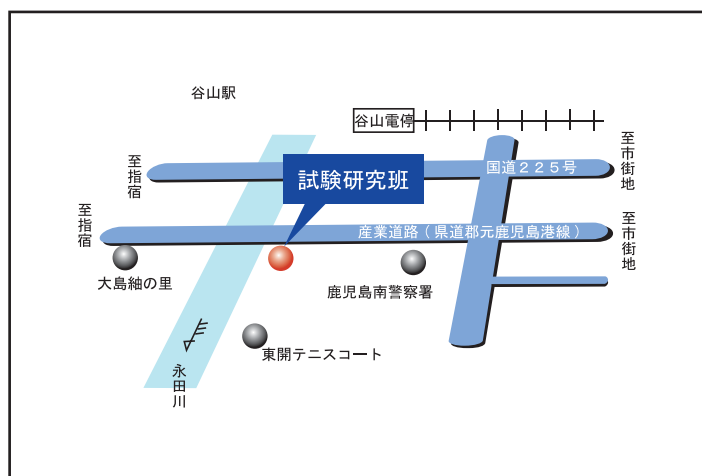
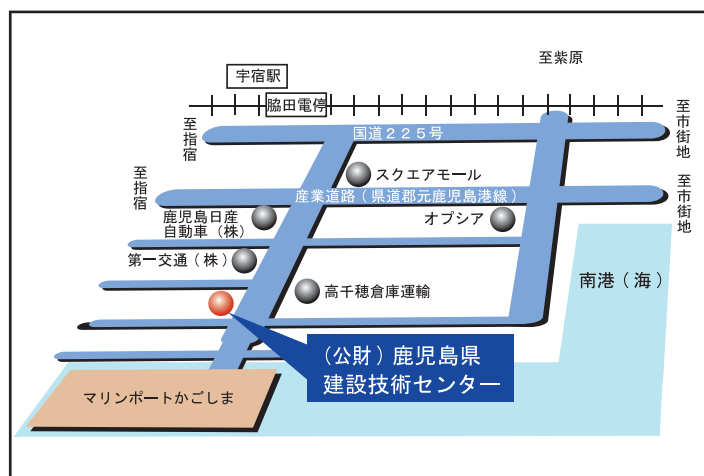
番号	決 定 者	活動・研究テーマ
1	第一工業大学工学部 田中 龍児 外（共同研究）	海岸地形の簡便かつ効率的な測量システムの開発
2	鹿児島大学大学院理工学研究科 武若 耕司 外（共同研究）	構造物長寿命化修繕計画サポートシステムの構築
3	鹿児島大学大学院理工学研究科 山本 健太郎 外（共同研究）	火山灰と産業廃棄物の有効活用による藻場基盤材の開発
4	特定非営利活動法人 鹿児島砂防ボランティア協会	県民と行政のパートナーシップによる地域づくり
5	鹿児島大学大学院理工学研究科 酒匂 一成 外（共同研究）	鹿児島版地盤情報データベースの開発
6	鹿児島大学農学部 平 瑞樹 外（共同研究）	ヒートアイランド現象を緩和する軽量被覆ブロック材の開発
7	鹿児島大学水産学部 西 隆一郎 外（共同研究）	巨大津波に対する砂丘－海浜地形の応答に関する防災的研究
8	第一工業大学工学部 羽野 暁 外（共同研究）	鹿児島県内に残存する大正・昭和初期橋梁の意匠調査
9	鹿児島工業高等専門学校 前野 祐二 外（共同研究）	しらすと廃石膏を主原料とした固化材の開発
10	鹿児島工業高等専門学校 長山 昭夫 外（共同研究）	指宿市の観光資源である海砂の保全・創出のための沿岸域モニタリングシステムの開発



鹿児島県建設技術センター



※ 写真撮影方向



(公財) 鹿児島県建設技術センター

〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目9番3号

(総務部) TEL: 099-252-5577

FAX: 099-252-5388

(建設技術部) TEL: 099-252-5957

FAX: 099-252-5377

アクセス 宇宿駅から徒歩14分
脇田電停から徒歩12分

試験研究班 (建設工事材料試験室)

〒890-0115 鹿児島市東開町1番

TEL(FAX): 099-268-5708

アクセス 谷山駅から徒歩14分
谷山電停から徒歩11分

ホームページアドレス

<http://www.kago-kengi.or.jp/>

E-mailアドレス

info@kago-kengi.or.jp